

夢、私たちに。 わたしのひとこと



魅力ある村づくり

飯森 太田 恵子

私が白馬に移り住んで20年がすぎました。白馬の雄大な山々を見てこんな所で子育てができたらいいなと思って来ました。ここでは自然の中で人が人らしくのびのびと生活できると思ったからです。その後交通が整備され、生活は便利なものとなってきました。でも逆に都会の人から見た白馬の魅力は薄くなってきたのではないかと思います。私自身も毎日の生活に追われ白馬の魅力を感じる心が鈍っているかもしれません。

今、白馬マイスターなど白馬を紹介し楽しみを伝える活動が盛んになってきました。そういう催しに参加する事もよいでしょう。白馬は夢の詰まった宝石箱のような場所だと思います。白馬に暮らしている私たちが白馬のよさを再認識し大切にしてこそ魅力ある村づくりができるのではないのでしょうか。私達が本当に白馬を愛してこそ、更にとくさんの人に愛される白馬になると思います。



私のスローライフ

山麓 伊藤嘉住子

今、巷では、スローライフ、スローフードという言葉がよく言われています。私も、その流行にのってという訳では無いのですが、ここ5・6年、野菜作りから、しょう油、みそ作り、又りんごや柿の酢作り等にはまっています。このような事はみな村のお年寄りの方たちが聞かれば、何を今更とおっしゃることばかりですが、都会で生まれ育った者には、本当に新鮮な驚きでした。5年ほど前、知人から教わり、始めたのですが、畑で一度に収穫できる野菜や果物を、いかに腐らせずにうまく使い廻していくかという、先人の方達の豊かな知恵に本当に感心させられます。信州は元来、厳しい自然環境の下、様々な食品を保存する文化が発達している所です。そのような土地に、今住まわせていただき、そういう先人の方達の暮らしの知恵、文化に触れる事が出来るというのは、なんと幸せな事なのでしょう。



今にして思う大切なもの

塩島 塩島 昭次

現役を引退し早三年、いつしか還暦も過ぎ、年月の早さに驚かされます。家に入り畠仕事に孫の子守に一喜一憂しながら、美しい白馬の自然を楽しむことに幸を感じています。さて、私の小学校高学年の頃、ある先生より現在の白馬南小の東のガクモ原に案内され、この湿原は平地でありながら沢山の高山植物の宝庫で大切な所であると教えられました。全体が湿原地帯で「もうせんごけ」淡水の白い海老、等を見ることができました。現在、樽池にある神の田圃と同じ位の植物があったのを覚えています。その頃の私には大切さも良く理解出来ませんでした。その場所も今は水田、ゲートボール場になっています。私は大切なものを失ったように思います。沢山の方々が今白馬の自然を残そうと努力されていることに敬意を表します。元気な村。訪れてみたくなる村にするために何を残すか洗い直すことも必要ではないでしょうか。行政を担当する方々の尚一層の努力あらんことを期待します。

議会を傍聴してみませんか？

村民の選んだ代表が議場でどんな発言をしているか、行政はどんな対策を考えているか、自分の耳と目で確かめ下さい。

編集後記

最近、全国で子供を狙った悲惨な事件が、つづいています。我が国には、約千百万人の小学生がいます。

各地でさまざまな、取り組みがされており、村でも地域で子供を守る態勢づくりが必要です。

通学路の点検、危険箇所についての対応、登下校時のパトロール、保護者に出迎えてもらう、犬の散歩や、庭の掃除、雪かきを下校時にしてもらおう等々、皆で子供を見守る人の輪を広げていく必要があります。

子供は皆の宝です。一人ひとりの命を大切にする社会、犯罪を生まない社会を、学校、PTA、地域の皆さんでつくっていきましょう。
(池田和良記)